

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成26年度採択課題）

FS（革新的研究調査）評価（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
26-1	次世代モビリティ社会を踏まえた移動空間評価手法の開発研究	名古屋大学 教授 山本 俊行	B

<研究の概要>

超高齢社会や国際化、さらにはパーソナルモビリティ（以下、PM と称す）等次世代モビリティの時代潮流を踏まえると、道路の整備評価も従来の経済効率性だけでなく、移動者の快適性やストレス緩和等質的指標を組み込むことが必要と考える。本研究は、従来、指標化が困難であった質的指標を生体情報によって定量化・モデル化することで、次世代モビリティ社会を念頭に置いた道路空間評価技術の開発、及び空間整備の方向性の示唆を目的とする。

<FS 評価結果>

FS 研究により、実道におけるドライバーのストレス調査を実施し、調査結果が道路の快適性評価等に活用できる可能性を示したことから、新規研究として採択する。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 被検者数など実験の規模を見直し、研究予算の縮減を行った上で、実行可能な研究計画に修正すること。
2. ドライバーのストレスと道路の快適性との関係を、より明確にすること。
3. 道路行政の現場で利用可能な道路空間の評価手法を目指して進めること。